

# 根岸中学校の感染症予防対策について

R2. 5. 27

**基本的感染症対策**：手洗い・咳エチケット・換気  
**新しい生活様式の徹底**：3密を避ける、身体的距離の確保

## 1、校舎内の環境整備について

- ・教室内の環境整備・・・机の距離、ゴミ箱（ふた）、出入り口扉の固定、
- ・トイレ、流し、その他待機場所の動線表示・・・養生テープにテプラ
- ・昇降口前、保健室前出入口、外階段2階体育館出入口で、  
上履き靴底消毒・・・レジューシート？の上に次亜塩素酸  
浸した雑巾を設置しその上を通り教室へ。
- ・部活ホール更衣室に・・・石けん配置
- ・保健室内の配置換え



## 2、生徒の健康管理の徹底

(1) 朝の**健康観察**・・・校舎に入る前、昇降口前で 健康観察票・マスクのチェック。

- ・学年ごとに昇降口入口を変える。

1年（左：職員玄関側） 2年（右） 3年（別館渡り廊下側）

- ・**熱(37℃)、咳、だるさ、息苦しさ、頭痛、その他(下痢嘔吐、嗅覚・味覚等)の項目が1つでもあれば、早退。**

⇒ピロティで待たせ、保護者連絡後、**安全に帰宅させ、自宅で療養させる**。

その際、出席停止になり、欠席にはならないので、症状がなくなるまでは、無理せず、自宅で休養するよう話す。

⇒連絡がつかなければ、**カウンセラー室等なるべく別館で、待機。**

○**健康観察票忘れ・未記入の生徒**・・・図書室前ピロティで学年職員が対応して検温を行う。

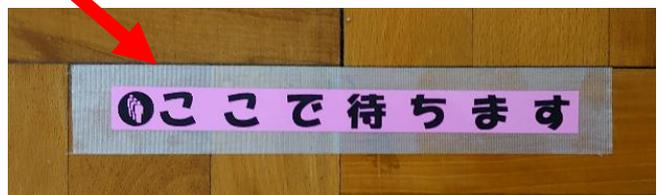
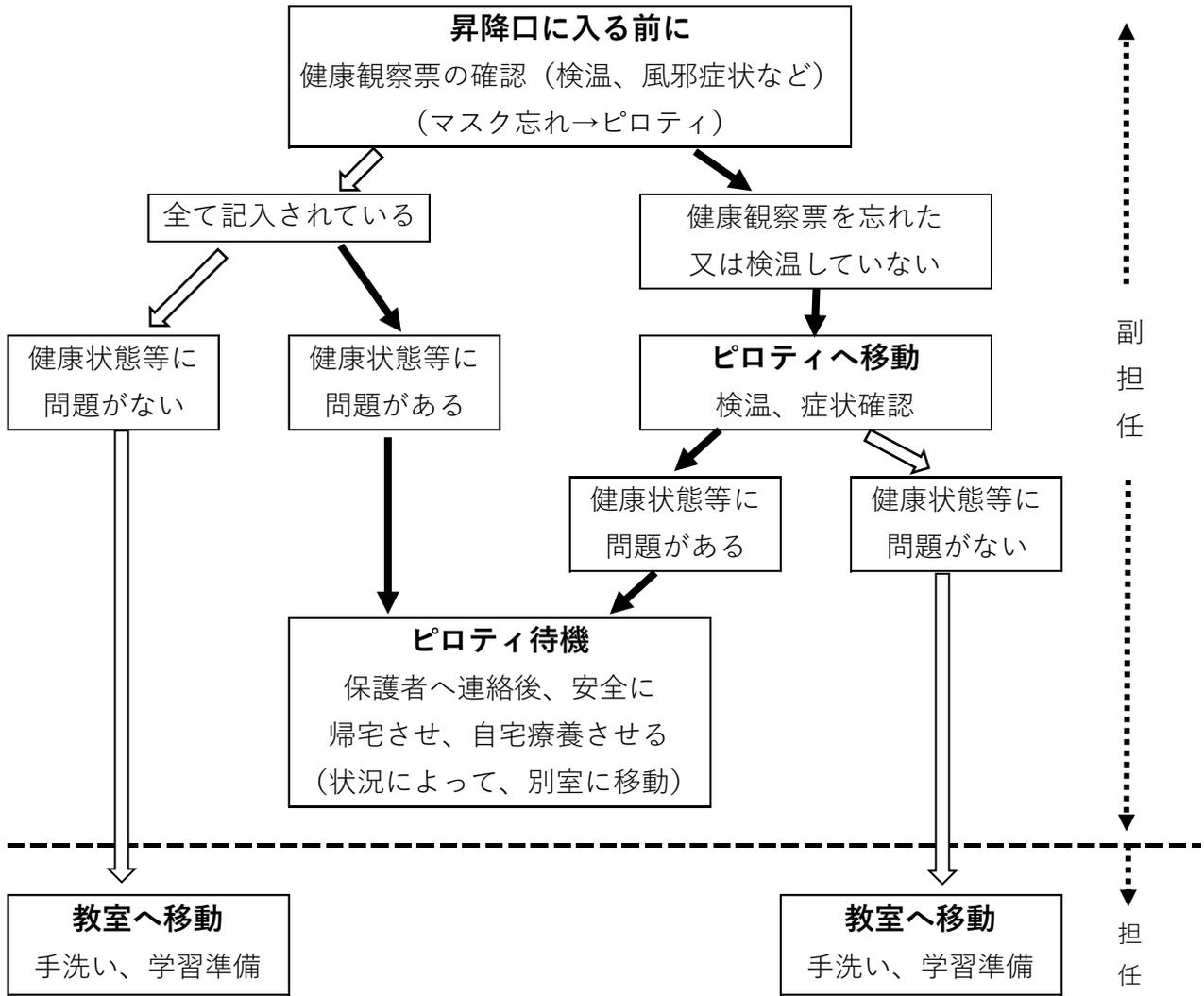
**マスク忘れの生徒**

- ・・・初日に限り、教室で配布配布マスクを渡す。

翌日からキッチンペーパーマスクを渡す。持参のハンカチが二枚あれば、手作り。

次回は必ず持ってくるように、指導。

# <登校時の健康観察の流れ>



## (2) 基本的感染対策(手洗い・咳エチケット、換気)と新しい生活様式の徹底

**再開時の保健指導** 感染リスクを下げる行動・新しい生活様式について、指導。

今後もある毎に、話題にしていく。

○感染症の予防

- ① **手洗いの徹底** **場面** 登校時、外から帰った時、体育など技能教科の前後、食事の前後、トイレ、掃除の後等こまめにしっかり洗う！

※各自、毎日清潔なハンカチ(タオル)、ティッシュを持ってくる。(共用しない)

(手が湿っているとウイルスが繁殖しやすくなる。)

- ② **咳エチケット、正しいマスクのつけ方**

※マスク生活・・・体調が悪い時は、無理せず申し出ること。

どうしても苦しい時は人から距離をとって、少し新鮮な空気を吸うのもOK。

- ③ **3つの密「密閉」「密集」「密接」を避ける生活。 身体的距離の確保。換気の大切さ**

- ④ **免疫力を高めるための基本的な生活習慣**について

特に栄養、睡眠、適度な運動、水分摂取等について、繰り返し指導する。

○その他気を付けること

- ① **風邪症状のある時には、無理せず自宅で休養。**(欠席にはならない)
- ② **熱中症予防**・朝、必ずコップ 1～2 杯の水分補給を。起きた時、朝食時、家をでる前など。
- ③ **睡眠**・・・くずれた生活リズムをもどすには、2～3 週間かかる。眠りを妨げるブルーライトの出るスマホ・ゲーム機は寝る 1～2時間前には見ない。起きる予定時間の 15 分前から電気をつけたり、カーテンを開け、部屋を明るくするのが、リズムをなおすポイント！



### 3、徹底した換気

(1) 授業時間中

教室の廊下側の出入り口と上窓は、原則開放。(戸手を触らず、感染リスクが下がると校医からも)

ベランダ側の窓は、その日の天候や状況に応じて開けられるときには加減をみて開放。

天候等により常時開けられない時は、できれば授業途中に一回 10 分ほど換気。

(2) 休み時間等

教室の窓は開放し、必ず換気を行う。※廊下、階段の窓、ホールの窓は原則常時開放する

### 4、昼食開始時

毎日、食事用の清潔なナフキンを持ってくる。

### 5、感染予防のための消毒作業 他。

**全職員で、生徒下校後、換気をしながら消毒** をする。

消毒方法…消毒液を絞った清潔な雑巾で、消毒箇所をふき取る。

(※1分程度、時間を置いてから ふき取ると効果大きい。)

※消毒薬は、当面 500ml に 5ml (ペットボトルの蓋 1 杯) のハイター希釈液を使用。

※金属部は腐食するため十分なふき取りを行う。

※薬液が使えない場合は陽に当てる。(紫外線消毒)

- ・基本、生徒には消毒させない。
- ・6月前半、分別登校時は一日2回下校後、消毒。

(1) 教室・特別教室内、廊下、流しの消毒 (学年のフロアを中心に、声かけあって・・)

机面、椅子(背もたれ、座面)、教室の出入り口取手、スイッチ、黒板消し、窓のさん・鍵  
ごみ箱の取手 など、手を触れる部分

※使用する特別教室については、教科担任中心で

(必要に応じて所属学年の協力を得て)、同様に対応する。

★できれば、教室床のモップ掛け(雑巾モップ)

流しの蛇口・石鹸の押す所  
他、手を触れた可能性がある  
と思われる部分、すべて

(2) 階段、昇降口、一階・部活ホール(更衣室)、(4学年)

手すり、スイッチ、廊下側の出入り口取手

(3) トイレの消毒 (トイレの取手・レバー)、廊下・スロープのモップ掛け・・ (技術員)

(4) その他

・燃えるゴミのゴミ箱は、板目紙、段ボール等で蓋を作成する。

・ゴム手袋は各自記名し個人持ちにします。作業後はフロアの流しに干して乾かし、施錠時に回収し、学年ごとに保管をお願いします。

・その他、消毒等の準備については、中島さんにお問い合わせください。

## 6、保健室の利用のしかた

- ・保健調査票の収納場所変更。棚の左右交換
- ・内科と外科その他の入り口を分けました。
- ・体調不良者の早退について。当面の間、熱がなくても基本、早退させます。  
ただ家庭に連絡がつかない場合、熱がある生徒は保健相談室で待機、複数出た場合は可能であれば、和室などの利用も考えています。



保健室入口を内科と外科でわけ、できるだけ向き合ったり接触をさけるように配置

- ・更衣室の使い方・・・体育科から
- ・休み時間の過ごし方・・・生徒指導から

	生徒	担任・学年職員		体調不良者の対応
動き	登校 (昇降口前 ?) 雨天 別館渡り廊下 教室へ	・健康観察票 ・マスク OK、✕	チェック > 検温 > マスク渡す	<保護者連絡> <健康観察> ・票の転記 ・体温、パルスオキシメーターの測定 <早退させる>
担当		学年	学年 (保要)	保要 学年1
		※ 各動きに臨機応変に対応する		